

令和6年度福岡県高校生介護技術コンテスト兼

九州地区高校生介護技術コンテスト福岡県代表選考会

【課題】

【課題】

昼食後に居室にて娘さんとの面会后、しばらくして「家に帰る」と廊下に出てこられました。ご自分で普段着の上に上着を裏返しに着ています。

上着をなおし、安心して過ごして頂くために居室または食堂兼共有スペースに誘導してください。

※福岡さんの上着は前開きで、その下は普段着です。

※福岡さんの返事は「うなづく」または、「指さし」のみです。

※介助者の動作に対する促しや求めには拒否なく応じられます。

※福岡さんの性別はチームごとでの設定とします。

【福岡さんの情報】

基本情報	氏名：福岡さん 年齢：75歳（2025年3月現在） 要介護：2 障害高齢者の日常生活自立度：A1 認知症高齢者の日常生活自立度：IIb 身長：→利用者役決定次第公表
生活歴・生活背景	25歳で結婚し、自営業で柿生産を配偶者とともに営み、27歳のときに一人娘が生まれた。子育てをしながら58歳まで仕事をしていた。配偶者の他界をきっかけに、家業を同居する長女夫婦に任せてからは、趣味で続けてきた陶芸を楽しみに過ごし、男孫の成長を楽しみにしていた。 平成28年ごろに認知症を発症。認知症の進行に伴うものか、夜間眠れない状態が続き、不眠症の治療を受けている。その後、令和元年6月に脳梗塞を発症し、約1か月入院した後、自宅に戻ったが右上下肢に不全麻痺が残る。 令和5年まで長女家族の協力もあって在宅生活を継続していたが、外出すると自宅に帰れない、時には家族の顔も忘れるなど認知症状が進行し、在宅生活継続が困難となり同年8月にグループホーム入居に至る。

<p>健康状態 心身機能 身体状況 身体構造</p>	<p>【主な病名と服薬・疾患】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルツハイマー型認知症（HDS-R 9点）、服薬中</li> <li>・不眠症、服薬中</li> <li>・脳梗塞による右上下肢麻痺（不全麻痺）</li> </ul> <p>術後にリハビリを行い、日常生活において不便を訴えられることはあるが、おおむねADLは自立。その後は不全麻痺に対する医学的リハビリは行っていない。</p> <p>【バイタル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体温、血圧、脈拍安定（1回/日測定）</li> </ul>
<p>活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居後は、比較的穏やかに生活されている。時折「自宅に帰る」という言動や行動が家族の面会后や夕方に多く見られるものの、職員の対応で落ち着かれることが多い。</li> <li>・家族の面会時に嬉しそうな表情を見せられる。入居後に娘と孫の顔が分からない様子は見られないが、娘婿や孫の名前が思い出せない様子は見られる。</li> </ul>
<p>ADL</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝返り、起き上がり、座位：自立。</li> <li>・移乗：手すりなどにつかまりながら自立して移乗可。</li> <li>・歩行：前かがみで歩行するため転倒しやすく不安定なため、おもに杖を使用。外出の際にシルバーカーを使用することもある。</li> <li>・更衣：声掛けや促しなど一部介助。</li> <li>・整容：声掛けや促しなど一部介助。</li> <li>・入浴：週3回、洗身と洗髪など一部介助により入浴。</li> <li>・食事：配膳すれば自力で食べることも可能だが、途中で多少の促しが必要。</li> </ul>
<p>IADL</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理：声掛けを行えば、簡単なことはできる。</li> <li>・買い物、外出：娘さんや職員に同行する程度。</li> <li>・掃除：声掛けや促しがあれば、簡単な床などの掃除は可。</li> <li>・金銭：年金は娘が管理。家族の意向で小銭を財布に少額のお金は所持している。</li> <li>・服薬：施設で管理し、必ず職員が支援。</li> </ul>
<p>認知症状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活動作において、声掛けや促しを必要とする場面が増えてきている。</li> </ul>
<p>コミュニケーション能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくり会話をすれば理解できる。</li> <li>・その日の状態で意思疎通に多少の差は見られるものの、支援において支障はない。</li> <li>・職員の違いで理解力が変動することはない。</li> </ul>

<p>社会との関わり ホーム内での生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・娘の面会は週2～3回。娘婿と孫は2～3ヶ月に一回。</li> <li>・日中は食堂兼共有スペースで過ごすことが多い。</li> <li>・ほかの入居者との関係は良好で、積極的に話される様子はあまり見られない。</li> <li>・レクリエーションや外出・食事などの拒否はない。</li> <li>・「自宅に帰る」という言動や行動がみられる際、普段はテレビを観ながらお茶を飲んだり、アルバムを見ながら過ごす と落ち着かれることが多い。ホーム側から家族に連絡し一緒に過ごしてもらうこともある。</li> </ul>
<p>排尿・排便</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿意、便意はあり。居室で過ごされてある時は、定期的な声掛けと様子観察を行なう。</li> <li>・排尿は1日5回程度。(尿取りパット使用中)</li> <li>・ご自分で自室トイレにて排泄することが多い。</li> <li>・排便は2日に1回程度。(緩下剤を服用中)</li> <li>・排泄後のパットの介助においては職員が行う。</li> </ul>
<p>家族との関わり</p>	<p>定期的な面会以外にも、ホームでの行事には積極的に参加される。他にも、娘さんが福岡さんを買物や散歩などに出かける機会をつくり協力的である。</p>

#### 【使用可能な物品】

会場図に記載している物品

#### 【出場チームの皆さんへ】

- ・利用者は、「選手の挙手とはじめますの発声」により会場図の矢印➡に沿って歩きだします(停止位置のマークは最長移動範囲)。「選手の利用者に対する最初の声掛けと利用者が判断」した際に立ち止まります。
- ・床面からマットレス上部までの高さは、前座高(足底がつく高さ)に設定されています。ストッパー等の安全確認は済んでおりリモコン操作は可能。
- ・「配置物品以外のものをあるように仕草を行うことや、それをアピールに含めること。」  
「競技時間内に行っていない実技内容をアピールに含めること。」は評価の対象とならない。
- ・利用者役は出場校順に前半と後半に分け、交代制とします。
- ・感染対策(マスク等)の着用は、選手、利用者役ともに自己判断に委ねます。
- ・タイマーはカウントアップです。